

なかやま

議会だより



No.26

July 2023

発行日：令和5年7月15日

発行：中山町議会



豊田小学校



笑顔あふれる運動会



長崎小学校



目次

6月
定例会

令和5年度一般会計補正予算	2
私は賛成、私は反対	4
町政を問う 一般質問	5～10

議会活動報告	11～13
まち・ひとインタビュー	15
楽しい仲間たち	16

請願と陳情(要望) 6月定例会に陳情1件、要望書1件が提出されました。

陳 情	国に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める陳情書 受理年月日：令和5年5月16日
要 望	人道的見地から、沖縄防衛局による「沖縄本島南部からの埋め立て用土砂採取計画」の断念を国に要請することについて 受理年月日：令和5年5月25日

令和5年 中山町議会6月定例会日程表

期 日	会 議	備 考
6月7日(水)	本 会 議 (常任委員会)	一般質問 議第20号～23号 各件毎提案理由の説明、質疑、討論、採決 報告 厚生産業常任委員会
6月8日(木)	休 会	議案調査
6月9日(金)	本 会 議 (全員協議会)	議第24号～28号 各件毎提案理由の説明、質疑、討論、採決

町民と町政をつなぐ架け橋に

中山町議会議員選挙が行われます

令和5年9月30日の任期満了に伴い、中山町議会議員選挙が次の日程で行われます。

告 示 日 令和5年9月12日(火)

投開票日 令和5年9月17日(日)



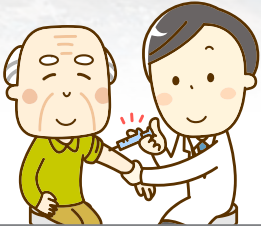
立候補者の費用負担軽減のため、選挙公営(公費負担)制度が導入されています
選挙公営制度とは、お金のかからない選挙を実現するとともに、立候補の機会や候補者間の選挙運動の機会均等を図るため、一定の範囲で立候補者の選挙運動にかかる費用の一部を公費で負担する制度です。公職選挙法の改正により、当町では、令和3年6月定例会において条例の設定が行われました。これにより、中山町議会議員選挙においても、選挙公営(公費負担)の対象となり、立候補しやすい環境づくりが進められています。(詳しくは、なかやま議会だよりNo.23に掲載)

詳しくは、町選挙管理委員会(☎023-662-2111)まで

令和5年度一般会計補正予算(第1号)

8月までのワクチン接種(春開始接種分) 2722万円を専決処分

5月8日より、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが第5類に引き下げられましたが、ワクチン接種については、これまで同様、公費負担による接種が継続されます。それに伴い、速やかな接種体制を整備するための専決処分を承認しました。ワクチン接種の財源は国の補助金となります。



5月8日以降の中山町の感染対策等の考え方

- ① 基本的な感染対策については、主体的な選択を尊重し、個人や事業者の判断に委ねることとします。
- ② 町として一律に感染対策を求めることはなくなり、個人や事業者は自主的な感染対策に取り組むものとします。町は、国および県から提供される個人や事業者の判断に資する情報の周知に努めます。
- ③ 特に感染対策が求められる医療機関や高齢者施設等については、引き続き国および県から提供される感染対策に関する情報に十分留意します。

令和5年度一般会計補正予算(第2号)

6月定例会で第2回目の予算の見直しを行いました。その結果、歳入歳出予算にそれぞれ1951万円を増額し、総額で52億273万円とするものです。見直しの主な内容は次のとおりです。



約30mにわたり道路が崩落 車も人も通れません

トピックス
①

崩落箇所の復旧に向けて

道路ストック点検・改修事業

町道土橋沼の倉線は、令和5年3月に発生した崩落により、現在も一部区間が全面通行止めになっています。同線の復旧工事のため、測量設計等業務委託料として、399万3000円を増額補正するものです。

トピックス
②

お達磨の桜を後世に

文化財保護総務経費

令和4年度に実施した、お達磨の桜の樹体調査結果を踏まえ、樹木医立会いによる土壌改良、2世木の移植候補地の土壌調査など、樹勢回復のための作業を実施するため、お達磨の桜樹勢回復処理委託料として48万9000円を増額補正するものです。



一部に枝枯れも見られるお達磨の桜(県指定天然記念物) この雄姿をいつまでも・・・

一般質問

一般質問とは、議員個人が町の事務・事業の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長などに求め、町が町民のために適切な町政運営を進めているかを議員が問いたすものです。
質問方法は、効率的な議会運営を目的に、質問する議員があらかじめ議長に質問の趣旨などを知らせる「通告制」を採用し、議員はその内容に沿って質問します。中山町議会では、質問時間は答弁と合わせて40分以内としています。

5人の議員が一般質問

6月定例会では、5人の議員が10件の一般質問を行い、将来の町政について活発な議論を展開しました。

質問者(発言順)

渡辺 博文 議員 (6ページ)

- 一向に樹勢が回復しない“お達磨の桜”について
- 一向に改善しない“町営バスの使い勝手”について

佐東 幸治 議員 (7ページ)

- 樹園地継承の担い手確保を

須貝 勝司 議員 (8ページ)

- DX推進で町民の利便性向上を図れ
- 人口減少・少子化対策のため、さまざまな施策を

木村 幸広 議員 (9ページ)

- 犬や猫などが、人にとっていやしの存在になるように
- 道路の冠水対策について

夢田 慎二 議員 (10ページ)

- 避難行動要支援者の避難について
- マイナンバーカードトラブル防止について
- 英検補助金の対象者について

ここが聞きたい！

町政を問う

その議案に私は賛成、私は反対

6月定例会 採決状況

○賛成 ●反対 ⊗欠席 退席

議案番号	議案名と主な内容	1 佐東 幸治	2 須貝 勝司	3 夢田 慎二	4 鈴木 徹雄	5 渡辺 博文	6 斎藤 眞一	7 村山 隆	8 木村 幸広	9 佐竹 英規	議長 鎌上 徹
議第20号	令和4年度中山町一般会計補正予算(第10号)についての専決処分の承認について 歳入歳出予算それぞれ8909万1000円増額し、歳入歳出予算総額を56億4435万5000円とする 一般会計予算の補正が急きょ必要となったため、地方自治法第179条第1項の規定に基づき専決処分したもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
21号	中山町町税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認について 地方税法等の一部改正に伴い、急きょ施行を必要としたため、地方自治法第179条第1項の規定に基づき専決処分したもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
22号	中山町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認について 地方税法等の一部改正に伴い、急きょ施行を必要としたため、地方自治法第179条第1項の規定に基づき専決処分したもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
23号	令和5年度中山町一般会計補正予算(第1号)についての専決処分の承認について 歳入歳出予算それぞれ2722万円増額し、歳入歳出予算総額を51億8322万円とする 一般会計予算の補正が急きょ必要となったため、地方自治法第179条第1項の規定に基づき専決処分したもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
24号	令和5年度中山町一般会計補正予算(第2号)について 歳入歳出予算それぞれ1951万円増額し、歳入歳出予算総額を52億273万円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
25号	中山町子ども・子育て会議設置条例の一部を改正する条例の制定について 子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、本条例の改正を行う必要があるため	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
26号	中山町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について 子ども・子育て支援法、学校教育法及び児童福祉法の一部改正並びに法律・事務の所管省の移管等に伴い、本条例の改正を行う必要があるため	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
27号	中山町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正及び法律・事務の所管省の移管等に伴い、本条例の改正を行う必要があるため	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
28号	令和5年度中山町一般会計補正予算(第3号)について 歳入歳出予算それぞれ98万円増額し、歳入歳出予算総額を52億371万円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*

*注：議長は採決に加わりません。



わたなべ ひろふみ
渡辺 博文 議員

一向に樹勢が回復しない “お達磨の桜”について

問 毎年、100万円前後の税金を投入しながら、一向に樹勢が回復しない「お達磨の桜」について、100万円もの税金をどう使っているのか。また、今後の具体的な対策はどう考えているのか。

教育長 県指定の天然記念物であることから、県および樹木医の指導のもとで適宜、枯れ枝処理、腐朽部や空洞化の処置、活力剤の注入など、毎年50万円から80万円程度の管理作業経費を投入し、これまで管理を行ってきた。

たが、樹木のことなので、すぐに衰退原因が特定できたり、対策の回復成果が直ちに表れるものではないと考える。引き続き、計画的に土壌入替、枯死した枝の処理などを実施し

ていく。
あわせて、2世木の苗木を指定木近くに移植して大事に育ていき、地元の意見を踏まえながら、お達磨の桜を後世に引き継げるよう努めていく。

一向に改善しない 町営バスの使い勝手について

問 町営バスについては、何年も前から、いろいろな提案をしているが「今後検討していく」という口ばかりの答弁で、一向に解決していない。具体的に何をどう検討し、解決していくのか。

町長 令和元年12月定例会において、「今後検討していく」等と答弁した5点については次のとおりである。
①運行の安全性確保については、安全安心

な運行がしっかりと遂行できることを第一に委託先を決定している。
②高齢ドライバーの運転免許自主返納に対する支援については、町営バス回数券のほか、タクシー券も選択できるよう追加した。
③町営中原アパート跡地への停車帯の設置については、バス停の移動を検討しているほか、「フリーストップ区間」の拡大

や、どこでも降車できる「フリー降車区間」の設定についても検討している。
④町内の金融機関前などの新たなバス停の設置については、運行路線やダイヤ全体の見直しの中で、引き続き検討していく。
⑤乗車料金の無料化については、法令上、乗車料金を無料化することはできないが、高齢者等の割引を目的とした無料乗車証の発行などによる実質無料化が考えられる。
今後は、タクシーの利用状況に関する「移動ニーズ調査」を行い、将来的なデジタル技術の活用も視野に入れなが



令和5年2月から新たに導入された町営バス
1日平均26.5人(5月の利用者数)では、実にもったいない

ら、より良い公共交通のあり方を模索していきたいと考えている。
「私の思い」
樹木医が町に提出した報告書と、業者が毎年行っているデータを比較すると、双方が理解し連携しているとは思えない。もう一度見直しをしてほしい。
また、現在町営バスはいろいろな問題を抱えている。ぜひ、最善な方法を模索していただきたい。



さとう こうじ
佐東 幸治 議員

樹園地継承の担い手確保を

問 昨年、農業経営基盤強化促進法が改正された。「人・農地プラン」が法定化され「地域計画」に移行することとなり、新たに10年後の農地をどの担い手に集積・集約化していくかを農地単位で示した、「目標地図」を令和6年度中に作成することが各市町村に求められるようになった。

当町においても、果樹栽培には多くの農家がかかわっている。果樹の担い手について、当町の従事する農家の年齢・果樹栽培面積・将来離農により荒廃する

樹園地など、実状は把握しているのか。

町長 農業委員会が令和2年度・3年度に行った農地利用アンケートによれば、10アール以上耕作している農業者(892世帯)の中で、経営主の平均年齢は69・3歳で、60歳以上は83・3%になっている。
また、2020年の農林業センサス統計によれば、当町の果樹栽培面積は、154ヘクタールで、りんご約63ha、おうとう約31ha、すもも約28ha、西洋なし約16haとなっており、その4品目で89・6%と主力品目になっている。

将来、荒廃してしまいう樹園地などの実状として、具体的に面積は把握していないが、農地利用アンケートの回答では、「5年後も経

営を維持・拡大していく」が約34・5%で、「やめる」が約30・6%、「縮小を検討」が約17・2%となっており、離農する農業者が増える見込みである。

問 「地域計画」「目標地図」作成の進捗状況は。

町長 今年度は計画策定のため、幅広い関係者で話し合いができる体制づくりを行っている。

問 「優良な樹園地」と「活用方法を検討すべき樹園地」の区分はできているのか。

町長 区分案は設定していないが、現在の全ての樹園地を継続する



りんごなどの樹園地が広がる豊かな土地を後世に(岡地区)

問 果樹栽培の担い手確保と、樹園地の継承については、どのように取り組んでいく考えなのか。

町長 樹園地を継承するため、新しい担い手として、新規就農者の受入れも重要だと考えている。
また、認定新規就農者への支援として、農業機械導入・農薬購入・苗木等への補助を実施している。

今後新規就農者が増加する施策や担い手確保について、国・県と連携しながら検討していく。

「私の思い」

農業の将来は明るいと思え、その準備を整えておくことが重要。



すがい かつし
須貝 勝司 議員

は、システム統一・標準化が完了する令和7年度以降に「書かない窓口」の導入も含め、窓口業務のあり方から検討を行っていく。

問 令和4年度に予定していた「転入・転出に係る手続きのワンストップ化」の進捗状況は。

町長 令和5年2月から運用を開始し、マイナンバーカードを所有する方が、オンラインで転出届と転入予約を行うことができるようになっていく。

問 「納税に係るキャッシュレス決済」の導入に向けた進捗状況は。

町長 スマートフォン決済アプリ等による納税方法については、令和5年4月より運用を開始した。

※D X（デジタル・トランスフォーメーション）とは、ICT（情報通信技術）の浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。
総務省の自治体D X推進計画によると、重点取組事項として、自治体の情報システムの標準化・共通化、マイナンバーカードの普及促進、行政手続きのオンライン化等が挙げられている。

問 デジタル化が進む中、高齢者に配慮した対応が必要と考えるが、その点は。

町長 現在、地域おこし協力隊が行っている「スマホ教室」などを今後も定期的に開催するほか、引き続きICTに不慣れな方などに配慮しながらD Xの推進を図っていく。

問 移住・定住促進や今後の小・中学校のあり方を考えたとき、山村留学制度が効果的と考える。山梨県丹波山村では、親子山村留学を実施しており、教育費の無償化に取り組んでいるほか、各種子育て支援を用意し、保護者の就業支援も行っている。交流人口拡大にもつながるこの制度を検討してはどうか。

※山村留学制度とは、小・中学生が自然豊かな農山漁村に移り住み、その地域の学校に通いながら、自然体験や農山漁村の暮らしを体験することを主な目的とした教育制度のこと。

私の思い

町民の利便性向上や福祉の向上のため、D Xの活用を進めるとともに、それぞれの町民の立場に配慮した適切な対応を望みます。
また、若者が集える出会いの場の創出など、人口減少対策につながるような取り組みを検討してほしい。

D X※推進で町民の利便性向上を図れ

問 天童市が、D X技術を活用し、「書かない窓口」を開始した。これは、職員が手続き内容を聞きながら、タッチパネル内の申請書を入力し、申請者は内容を確認して署名するだけで済むもので、市民の行政手続きの負担軽減が図られている。当町でも導入する考えはないのか。

町長 現在、総務省などが中心となり、「地方公共団体の基幹業務システムの統一・標準化」の取り組みが推進されている。当町で

問 町内での猫に関する苦情の件数と、その内容は。

町長 年間10件程度の苦情が寄せられている。主な内容は、放し飼いにされている猫が自宅敷地内に入ってきて行う迷惑行動に関するもの、野良猫へのエサやり、捨て猫に関することなどとなっている。

問 町内における、死亡した猫の収容頭数と、その費用は年間どのくらいになるのか。

町長 交通事故などで死亡し、飼い主が確認

できない猫については委託業者が回収し、エネルギー回収施設に搬入している。令和4年度における収容頭数は36頭、費用については、回収業者への委託料が30万円程度、山形広域環境事務組合への負担金が10万8000円となっている。

問 県内で猫の不妊・去勢補助制度を行っている市町村数は。

町長 県内13市町が実施している。

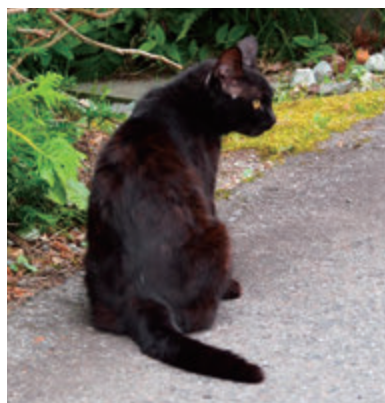
問 当町においても、不妊や去勢手術に補助制度を設けるべきではないか。

町長 飼い主のいない猫や望まない猫の誕生を抑制すること、また、飼い猫が繁殖した場合に、飼育が難しい場合、飼育主の義務とされている繁殖防止

道路の冠水対策について

問 あおば地区のコンビニ前や中山診療所前の道路冠水の原因と対策は。

町長 同地区は、周囲と比べ低い土地であることから、雨水等が集まりやすい地形となっている。それに加え、大雨の際は、最上川の水位上昇に伴う石子沢川への逆流を防ぐため古川水門を閉めることにより、石子沢川や新堀川の水位が高くなり道路側溝に流れ込んだ雨水が排水されず溢れ



措置の実施を推進する上で、補助制度は有効だと考える。近隣市町で補助制度を導入している現状なども踏まえ、今後、実施を判断していく。

出ること、道路冠水が発生している。

冠水対策については、今年度、国土交通省が用意する浸水センサーを用いて、リアルタイムで道路の浸水状況を把握する「ワンコイン浸水センサー実証実験」のモデル地区として参加することとなっており、あおば地区や新町地区周辺にセンサーを設置する予定である。また、令和4年度に整備した排水ポンプ2台等を使用し、道路冠水の際は早期復旧を

図っていく。

問 側溝における清掃などの維持管理は、どこが責任を持っているのか。

町長 側溝については、国道は国、県管理は、国道および県道は県、町道は町が道路管理者としてそれぞれ管理している。

町道における泥やごみ等の側溝清掃などの維持管理については、地区要望などにより、状況を確認の上、道路管理者として町が実施している。また、地元地区においても、ボランティア活動として泥上げなどを実施していただいております。今後ともご協力をお願いしたいと考えています。

私の思い

動物愛護の精神を忘れず、命の尊さを学ぼう。

犬や猫などが、人にとっていやしの存在になるように



きむら ゆきひろ
木村 幸広 議員

令和6年度へ向け 中山町重要事業要望

国土交通省 東北地方整備局と山形河川国道事務所に佐藤町長とともに要望書を提出

中山町はここ数年、豪雨による最上川本川の水位上昇や、それに伴う支川である石子沢川の内水氾濫が頻発しており、その被害は生活全般に大きな影響を与え、町民は不安を抱えています。安心・安全を確保するためにも、早期の対策が必要となっています。このようなことを踏まえ、避難経路となる国道112号「山形中山道」の整備とともに、6月13日、国土交通省に町および議会からの要望書を提出しました。

議会からは、鎌上議長、佐東副議長が出席し、災害に強いまちづくりに向け、下記2点を重要事業として要望しました。



東北地方整備局長へ要望書を提出

令和6年度 中山町重要事業 要望事項

最上川流域における総合的な治水対策の推進について

- 流域全体の安全度を高めるため、石子沢川と本川である最上川を俯瞰的に捉えた治水対策として、「令和2年7月豪雨を踏まえた最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト」を推進するとともに、関係省庁・関係機関との連携・協力を深めながら、既存の河川・堤防・排水機場の安全性の確認と運用力の向上を図ること
- 支川となる石子沢川流域における水災害対策を総合的に推進するため、特定都市河川制度を活用した流域治水の推進および推進体制の構築・流域水害対策計画の早期策定・必要な予算確保に努めること

国道112号「山形中山道」の整備促進について

- 国道112号「山形中山道」の整備について、必要となる予算を安定的・持続的に確保し、事業の推進を図ること

この要望に対し、下記のような回答をいただきました。

- 最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクトの中にある河道掘削を今後も実施し、本川の流下速度を上げ、水位が上がらないよう未着工部分の工事を進めていきます。
- 今年度、県内では初となる石子沢川の特定都市河川制度指定に向け、協力していきます。
- 国道112号については、須川北側の用地買収がほぼ完了し、現在は今年度の着工に向けて動いています。今後も全線開通に向け、確実な予算確保も含め、事業の推進を図ります。



意見を伝える鎌上議長

議会としても特定都市河川制度について、今後も勉強を重ね、災害の少ないまちづくりに努めてまいります。

次回の定例会は **8月24日(木)～9月1日(金)** の予定です。

お気軽にお越しください。 お問い合わせ：中山町議会事務局 ☎023-662-4370

避難行動要支援者の避難について

問 大雨による避難勧告が出た際に、避難行動要支援者名簿が有効に活用されなかったのではないかとの声がある。避難行動要支援者の実際の避難行動について、町で調査などは行ったのか。

町長 令和2年7月豪雨後、自主防災組織や地区等を対象に、同組織における活動状況とその課題を把握するためのアンケート調査を行った。

アンケートでは、避難行動要支援者の避難行動に関する具体的な

問 令和3年5月の災害対策基本法改正により、避難行動要支援者の個別避難計画の作成については、市町村の努力義務となった。現在の作成状況はどうなっているのか。

町長 現在のところ、作成数は9件となっている。

災害時に自力での避難が困難な方から優先的に作成を進めるよう、地区等や自主防災組織に協力をお願いしている。

問 個別避難計画の作成対象者数は何名なのか。

マイナンバーカード 申請・交付状況
(令和5年5月31日時点)

中山町人口：10,681人

申請件数 9,250人
(申請率：86.60%)

交付件数 8,373人
(交付率：78.39%)

【内訳】 令和2年以前：3,039人 (H27年～R2年)
令和3年：1,565人
令和4年：3,337人
令和5年：432人 (1月～5月)

町長 オンライン等で交付申請を行い、役場窓口で受け取る方法と、役場窓口で交付申請を行い、郵便により受け取る方法がある。

問 マイナンバーカードに関するトラブルが全国で多発している。町でも発行窓口を設けているが、トラブル防止にどのような対策を行っているのか。

健康福祉課長 避難行動要支援者名簿に掲載されている方が対象となり、724名である。

マイナンバーカード トラブル防止について

問 ログイン、ログアウトの確認はどうしているのか。

住民税務課長 1人ではなく複数の目で確認するようにしている。

英検補助金の対象者について

問 英語検定受検料補助金の交付対象者が、町立小・中学校に在学している児童生徒を有しているのか。

教育課長 小・中学校の児童生徒相当であれば対象になる。

私の思い

避難時に支援を必要とする方が早めに避難できるように、個別避難計画の作成にしっかりと取り組んでほしい。

問 特別支援学校やフリースクールに通っている場合も対象になるのか。

教育課長 町立小・中学校の英語学力向上策の一つとして、補助制度を設けている。

英語検定受検料補助事業を見直し、中山町に在住または在学する小・中学生の保護者に対象を拡大していく。

する保護者等となっている。町外の小・中学校に通う児童生徒は補助金の対象外となるが、どういった考え方なのか。



ただしんじ 議員

議会活動報告

水道企業団議会の正副議長再任

最上川中部水道企業団議会報告

6月14日、令和5年第2回最上川中部水道企業団議会臨時会が開催されました。これは山形市議会議員選挙に伴い、選出議員が変更になったことから、企業団議会の正副議長選挙および議席の決定、また、監査委員の選任を行ったものです。そのほか、2件の議案が原案どおり可決・承認されました。内容は下記のとおりです。

●正副議長選挙および監査委員の選任についての結果

◇議長 武田啓一郎 議員（山辺町） ◇副議長 渡辺 博文 議員（中山町）
◇監査委員 鈴木 進 議員（山形市）

●専決処分の承認を求めることについて

◇処分事項「最上川中部水道企業団個人情報保護法施行条例の一部を改正する条例の制定について」
これは、職員がその業務に関して知り得た規定する保有個人情報を、第三者の不正な利益を図る目的で提供、または盗用したとき罰せられる条例に改正されたものです。

●調査派遣に関する決議について

企業団発展に資するため、必要な調査派遣を行う決議案を提出し、全員一致で可決しました。

今後の課題解消に向けた研修会

令和5年度 町村議会議長・副議長全国研修会報告

5月23日、町村議会議長・副議長全国研修会が、東京国際フォーラムで開催され、鎌上議長と佐東副議長が参加しました。研修会では、講師3名による講演が行われ、主な内容は下記のとおりです。

●大正大学社会共生物学部教授 江藤 俊昭 氏 「町村議会の課題と今後の展望について」

町村議会が抱える議員のなり手不足問題に対し、一つの案として、議員報酬額の見直しが挙げられました。議員報酬は住民の理解を得ながら、地域の実情や議員活動の状況、物価の動向等に応じ、その水準のあり方を検討すべきという、今後の課題が示されました。

●NPO法人ブロードバンドスクール協会理事 若宮 正子 氏

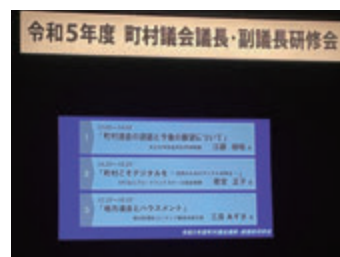
「町村こそデジタルを 一住民のためのデジタル活用法―」

デジタル化で暮らしの幸福度が向上したという、デンマークやエストニアの事例の報告がありました。また、デジタル化を進めるにあたり、全ての国民が利用できる工夫と、行政や家族の協力が不可欠という、デジタル化推進のあり方を再確認する内容でした。

●朝日新聞社コンテンツ編集本部次長 三島 あずさ 氏 「地方議会とハラスメント」

女性議員へのハラスメントの実状と対策の事例が紹介されました。議会に女性が増えることで多様性を確保し、ハラスメントが起きにくい組織づくりと受入れ体制づくりが進むよう意識を変えていく必要があるという課題が示されました。

3講演とも、近々の課題であり、その重要性を感じました。これからも、町民の皆さんのご理解とご協力を賜りながら議会改革を進めてまいりますので、ぜひご意見をお寄せください。



町村の問題・課題が指摘された研修内容

町内初 略式代執行 危険空き家を解体

厚生産業常任委員会報告（委員長：鈴木徹雄）

6月7日、厚生産業常任委員会が開催され、これまで町に対し、議会からも強く対応を要望してきた「梅ヶ枝町内の特定空家」についての状況報告がありました。

対象特定空家に対し「特定空家等の除却及び動産の処分について」の事前公告を令和5年5月10日から30日まで、町の掲示板および対象建物に告示、さらに町公式ホームページに掲載しましたが、期間内に所有者より措置等が行われなかったことから、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく「略式代執行」による解体が決定しました。

このことを受け、6月6日に解体業者の入札を行い、事業費は511万円、一般財源のほか、国庫補助金の「空き家対策総合支援事業補助金（補助率2分の1）」を活用し、解体を進めていきます。

空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく略式代執行は、町内で初めての事例となります。委員からは、ほかにも特定空家が複数あることから、必要な管理・措置を求める意見が出されました。

●これまでの経過および今後の予定

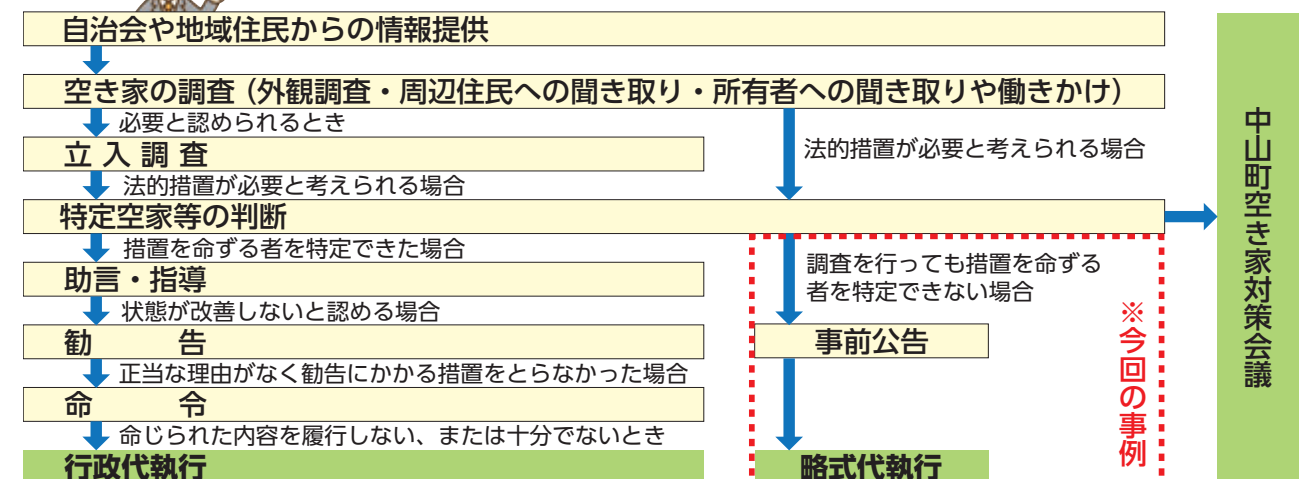
月 日	内 容
令和2年10月	中山町空き家対策会議にて特定空家に認定（6件認定）
令和4年8月～9月	山形市に登記簿上の所有者の所在確認を依頼し、所在確認できないとの回答
令和4年12月～令和5年2月	弁護士に略式代執行の際の事務処理を確認
令和5年1月	略式代執行の手続きについて先進地事例調査（米沢市・朝日町）
令和5年5月	「特定空家等の除却及び動産の処分について」告示
令和5年6月	解体業者の選定（入札）、略式代執行（建物解体）
建物解体除却後	建物の滅失登記



解体により町民の不安解消へ



管理不全空き家および特定空家等への対応





中学時代はバスケット、現在の趣味は釣り 笑顔が似合うスポーツマンの安藤先生です

生まれ育った中山町 医療の力で、 まちも人も元気にしたい

No.19

「まち・ひとインタビュー」では、中山町が大好きで、町内外で活躍する元気な「若者」にインタビュー。

まち・ひとインタビュー

第19回は、「安藤医院」院長の安藤薫さんです。

なかやま
大好き！

医師を目指したきっかけを教えてください。
安藤さん 父が医師だったため、小さいころから「自分も医者になるのかな」と漠然と考えていました。大学に入り、本格的に医学の勉強を始めると、その面白さや、臨床・診療に興味が沸き、医師の道に進もうと決意しました。

開業するまでの思いをお聞かせください。
安藤さん 初めは専門分野をとことんやる勤務医として従事していました。しかし、父が体調を崩し、安藤内科医院が閉院。その後、父が亡くなり、そのころから自分が父の跡を継ぎ、開業医としてこの中山町に貢

献したいと思うようになり、この道でいこうと決めました。

仕事のやりがいや充実感を感じるときは？
安藤さん 勤務医と違い、開業医になるとさまざまな症状を抱えた患者さんが来院されます。患者さんそれぞれの症状や要望に合わせ、ていねいに対応するよう努めることにやりがいを感じます。専門分野はもちろんです。そうでないときも患者さん一人ひとりに寄り添い、「うちでは診察できません」ということができるだけのように心がけています。そのためには、スタッフを含めた医院の雰囲気づくりも大切で、

それができたときに充実感があります。

中山町の医療についてはどうですか？
安藤さん 内科に関しては、町内の医院の先生方と連携していますので、入院が必要な方以外は町内で対応できていると思います。

中山町の魅力についてお聞かせください。
安藤さん 生まれ育った中山町に帰ってきて、やっぱり「何かいいな」と感じています。久しぶりに訪れた中山中学校は、校舎も体育館も新しくて驚きました。また、最上川の河川敷でキャンプができるのもいいですね。

最後に、健康上のアドバースと今後の目標をお願いします。
安藤さん ①塩分を摂り過



ご協力ありがとうございました。



プロフィール
あんどう かおる
安藤 薫さん (39歳)
山形市在住
安藤医院 院長・医学博士

長崎小学校・中山中学校卒業。
弘前大学医学部卒業後、山形県立中央病院など4つの病院勤務を経て、閉院していた安藤内科医院を2022年4月に内科・循環器内科・呼吸器内科「安藤医院」として診療を再開。専門は循環器。

広報モニターの 声

第25号から



「議会だより」を町民の皆さまに興味を持って読んでもらえる内容にするため、感想・意見をいただいている「広報モニター」の声ををご紹介します。

- 採決状況については、前年度比が表示され、予算の流れが比較できます。
- 予算円グラフでも、前年度比の数字を表示したほうがよりわかりやすいと思います。
- 見出しをつけることで、その後の内容を読みやすくしようとしているのがわかります。
- 「水道事業収益」や「水道事業費用」などは言葉の意味が難解で、説明がほしいです。

今回もたくさんの声をお寄せいただきありがとうございました。ご指摘のあった件については検討させていただきます。
ご意見、要望等ありましたら、どなたでもお気軽にご連絡ください。



連絡先

TEL : 023-662-4370 FAX : 023-662-2538
Eメール : gikai@town.nakayama.yamagata.jp

2市2町
山形市・上市市・山辺町・中山町

イベント情報

①とき ②ところ ③内容 ④問い合わせ

※イベントは予告なく変更になる場合があります。

第61回山形花笠まつり

- ①令和5年8月5日(土)～7日(月)
- ②国道112号線 山形中央郵便局前～文翔館前
- ③「ヤッショ、マカショ」の掛け声と勇壮な花笠太鼓を伴奏に、艶やかな衣装と紅花をあしらった笠を手にした踊り手が、市内の目抜き通りをパレードします。
- ④山形県花笠協議会 Tel.023-642-8753

第44回山形大花火大会

- ①令和5年8月14日(月)
- ②打ち上げ場所：霞城公園、観覧席：県民ふれあい広場・やまぎん県民ホール前イベント広場
- ③霞城公園に色鮮やかな花火が打ち上げられます。遠方の方はYouTubeでも花火の映像美を楽しむことができます。
- ④山形大花火大会実行委員会 Tel.023-632-8665

第35回日本一の芋煮会フェスティバル

- ①令和5年9月17日(日)
- ②馬見ヶ崎川河川敷(双月橋付近)
- ③山形名物の芋煮を直径6.5mの大鍋で約3万食分作ります。地元産の食材にこだわったおいしさもスケールもまさに日本一の芋煮会です。
- ④日本一の芋煮会フェスティバル協議会事務局 Tel.023-622-0141

第2回中山すももウォーキング

- ①令和5年9月30日(土) 9:00～正午
- ②山形県中山町地内
【スタート：中山町中央公民館】
・旧柏倉家住宅コース(約6.5kmコース)
・せせらぎ公園コース(約4.1kmコース)
- ③中山町の秋を感じながら、年齢・性別に関係なくみんなで気軽に町内を歩くスポーツイベント。チェックポイントにて町内産フルーツの提供あり。8月に参加申込を受付開始。定員300名。
- ④中山町教育委員会 Tel.023-662-2235

第14回元祖芋煮会 in 中山

- ①令和5年9月30日(土) 10:30～
- ②ひまわり温泉ゆ・ら前 交流広場(予定)
- ③芋煮会発祥の地である中山町で行われるイベント。北前いも煮の振る舞いなどの催しがあります。
- ④中山町観光協会事務局 Tel.023-662-2114



今号の表紙

団結を強めた運動会

今号から表紙では、新シリーズ「えがお なかやま」として、町民の皆さんの笑顔を紹介していきます。スタートとなる今回は、5月27日(土)に開催された豊田・長崎両小学校の運動会から、子どもたちの笑顔を集めました。

快晴のもと、「やったあ」「行くぜ」「がんばったよ」と、校庭には大きな声が響きわたり、児童たちは体いっぱい元気な表現していました。

「町民の笑顔」写真を募集します

なかやま議会だよりでは、「町民の笑顔」シリーズとして、皆さんの笑顔を表紙で紹介しています。自慢の笑顔写真をお持ちの方はぜひお寄せください。応募方法などについては、議会事務局 ☎023-662-4370) までお問い合わせください。



スポーツとフルーツ 伸びゆく町 なかやま

楽しい仲間たち

—明るい 豊かなまちづくりを目指して—

第2回

なかやま議会だよりの最終ページは、町内の各種団体を紹介してきました。

連載シリーズ第4弾は、「楽しい仲間たち —明るい 豊かなまちづくりを目指して—」と題し、町内で活躍・活動しているさまざまなサークル、ボランティア団体を紹介していきます。

今回は、「中山町消防団ラッパ隊」です。

② なかやままちしょうぼうだん 中山町消防団ラッパ隊

中山町消防団には、各地区の分団で活動している団員のほかに『ラッパ隊』として活動を行っている隊員がいます。ラッパ隊は消防出初式や各種消防演習の式典などで楽器を演奏し、消防団員の士気を高める役割を担っており、前町議会議長の故 堀川政美氏も、ラッパ隊として活躍されていました。



練習は、式典などの開催前に町防災センターなどで行っています。現在の隊員6人も、半数以上が楽器演奏未経験で入隊しました。未経験でも、楽器演奏に興味のある方、地域貢献に興味のある方、男女問わずお問い合わせください。トランペット、ドラム経験者は特に歓迎します。ぜひ一緒に活動してみませんか。



活動日：随時 主に午後7時から8時 活動場所：町防災センターなど

代表者：奥山暢之

おくやまのふゆき

会員数：6名 問合せ先：☎662-4899(総務広報課危機管理グループ)

お詫びと訂正

前号でご紹介した「中山町玄蕃太鼓振興会」の記事において、「故 森田一夫氏らの呼びかけで設立され」と表記しましたが、正しくは、「故 森田一夫氏の多大なるご尽力により設立され」とするべきところでした。

関係者の皆さまに深くお詫び申し上げ、訂正させていただきます。

なかやま議会だよりの

No.26

発行日：令和5年7月15日

発行：中山町議会

〒990-0492 山形県東村山郡中山町大字長崎120番地

TEL:023-662-4370 FAX:023-662-2538

E-mail:gikai@town.nakayama.yamagata.jp

印刷：大場印刷株式会社

編集後記

今年も暑い夏がやってきます。

私たちの生活も、少しづつではありますがマスクをしない時間が増え、昨年までと比べ、過ごしやすくなります。

議会広報委員は、町や議会の活動を町民の皆さんに「読みやすく」「わかりやすい」形でお伝えするための広報紙づくりに取り組んでいます。

今回号で、現在のメンバーでの発行は最後となります。ありがとうございました。（鎌上 徹）

議会広報常任委員会
委員長 村山 隆
副委員長 佐竹 英規
委員 佐田 幸治
委員 鎌上 徹